

第2期総合戦略における指標の種類について

1 指標の種類

第2期総合戦略では、以下の4種類の指標を設定することとしている。

また、第1期総合戦略の指標の評価では、率や差し引き後の数値など結果のみを示していたが、第2期戦略の評価においては、数値の結果に加え、根拠となる内訳も示すこととする。

(1) 重要検証指標

指標の推移を把握し、望む方向に対する実状を検証する。目標値は設定しない。

①市からの転入・転出増減数（望む方向：転入者の増加と転出者の減少）

②合計特殊出生率（望む方向：出生数の維持と女性人口の増加）

(2) 数値目標

総合戦略の各基本目標に直接的に結びつく指標として、目標値を設定し評価を行う。

基本目標1 若者や子育て世代も安心して働けるしごとと環境をつくる

→ 「雇用保険求職者給付の給付制限件数（自己都合により離職し、求職活動を行う者）」

基本目標2 移住・定住を推進し能代で暮らす人の流れをつくる

→ 「市への相談を経て移住した世帯数」

基本目標3 出会い・結婚・出産・子育てに関する望みがかなう地域をつくる

→ 「婚姻数」

基本目標4 安心して暮らせる元気な地域をつくる

→ 「自主防災組織設置率」

(3) 重要業績評価指標（KPI）

各基本目標に位置付ける施策の進捗状況を検証する指標として、目標値を設定し評価を行い、その結果に基づき取組の改善を図る。

例① 施策：次世代エネルギー関連産業の創出 → 再生可能エネルギー導入量

例② 施策：既存産業の魅力向上（農業） → 戦略作物5品目の生産出荷額

(4) 参考指標

施策に関連する指標として推移を把握するが、施策との関係性が間接的、または、数値の進捗には一定の上限等があることなどから、目標値は設定しない。

例① 施策：既存産業の魅力向上（農業）

→ 地産地消協力店数

例② 施策：新規高校卒業者の地元定着の推進

→ 地元企業就職説明会等への延べ参加者数